

ふりがな

あきやま しんご

氏名

秋山 晋吾

---

## 1. 学歴

1995年3月 筑波大学第三学群国際関係学類 卒業

1998年3月 千葉大学大学院文学研究科史学専攻（修士課程） 修了：修士（文学）

2004年3月 千葉大学大学院社会文化科学研究科（博士後期課程）修了：博士（文学）

---

## 2. 職歴・研究歴

2001年2月～6月 ハンガリー・デブレツェン大学文学部非常勤講師

2004年4月～2007年4月 日本学術振興会特別研究員（PD）

2005年2月 千葉大学文学部非常勤講師

2006年8月 大阪外国語大学外国語学部非常勤講師

2007年4月～2008年3月 敬愛大学経済学部非常勤講師

2007年4月～2010年3月 中央大学法学部非常勤講師

2008年4月～2009年3月 法政大学法学部非常勤講師

2008年4月～2010年3月 創価大学文学部非常勤講師

2008年4月～2010年3月 城西大学語学教育センター非常勤講師

2009年3月～6月 外務省研修所非常勤講師

2010年4月～2014年3月 一橋大学大学院社会学研究科准教授

2014年4月～ 一橋大学大学院社会学研究科教授

---

## 3. 学内教育活動

### （A）主な担当講義名

#### （a）学部学生向け

ヨーロッパ社会史総論,ヨーロッパ社会史特論,社会史史料講読（ヨーロッパ）,社会研究入門ゼミ

#### （b）大学院

ヨーロッパ社会史（近代）; EU ワークショップ

### （B）ゼミナール

学部後期、大学院

---

## 4. 主な研究テーマ

東ヨーロッパ近世近代社会史

## 5. 研究活動

### A. 業績

#### (a) 著書・編著

- ・「史料から歴史へ」南塚信吾・小谷汪之編『歴史的に考えるととはどういうことか』ミネルヴァ書房、2019年、59-85頁。
- ・『姦通裁判—18世紀トランシルヴァニアの村の世界』星海社新書、2018年。
- ・「三分割の時代からハプスブルクの時代へ—混乱と豊穡の近世」羽場久美子編『ハンガリーを知るための60章』明石書店、2018年、37-41頁。
- ・「18世紀中期ハンガリーの「ギリシア商人」居住地分布—1755年調査記録から—」山本明代、パプ・ノルベルト編『移動がつくる東中欧・バルカン史』刀水書房、2017年、119-140頁。
- ・「「ドナウ帝国」の出現」「オスマン帝国のバルカン」「中央ヨーロッパの再編」「東欧・南欧におけるナショナリズムの萌芽」「オーストリア=ハンガリー二重君主国」南塚信吾・秋田茂・高澤紀恵編『新しく学ぶ西洋の歴史—アジアから考える—』、ミネルヴァ書房、2016年、70-71,76-77,102-04,127-128,179-180頁。
- ・A Magyarország-kutatás múltja és jelene Japánban. In Léphafi Áron, Pap Norbert, Reményi Péter (ed.) *Átmeneti zónák és áramlási terek a Balkánon. A Japán-Magyar Balkán Kutatócsoport tanulmánykötete*, Publikon Kiadó, Pécs, 2014, 26-30.
- ・「近世国制とディアスポラ—18世紀トランシルヴァニアのカトリック・ブルガリア人」小沢弘明・山本明代・秋山晋吾編『つながりと権力の世界史』彩流社、2014年、25-45頁。
- ・「農村と地方都市」大津留厚・水野博子・河野淳・岩崎周一編『ハプスブルク史研究入門』昭和堂、2013年、73-80頁。
- ・「貴族の自治の誕生—中・近世ハンガリー史のなかの県制度—」篠原琢・中澤達哉編『ハプスブルク帝国政治文化史—継承される正統性—』昭和堂、2012年、106-136頁。
- ・「兵士の由緒と農民の由緒—18世紀ハンガリーのヤースクン社会—」歴史学研究会編『由緒の比較史』青木書店、2010年、381-405頁。

#### (b) 論文

- ・「史料としてのハプスブルク君主国『軍人職階表』」(共著)『一橋社会科学』第9巻、2017年、25-44頁。
- ・「近世東欧の交易ネットワークとその担い手たち—18世紀ハンガリーとバルカン商人—」『東欧史研究』38号、2016年、67-72頁。
- ・「ドナウ川の近世と近代」『歴史と地理』666号、2013年、57-61頁。
- ・“Greek Merchants, Their Wives, and Transiency of Migration in Eighteenth-Century Hungary” *Mediterrán és Balkán Fórum*, VII(1), 2013, PTE TTK Kelet-Mediterrán és Balkán Tanulmányok Központja, Pécs, Hungary, 2-8.
- ・「兵士の由緒と農民の由緒—18世紀ハンガリーのヤースクン社会—」『歴史学研究』847号、2008年、32-41ページ。
- ・「18世紀末トランシルヴァニア・ザラトナ郡における「共同体」—正当化・主体化の戦略と村の公共圏—」小沢弘明編『千葉大学社会文化科学研究科研究プロジェクト報告集』138号、2007年、7-26頁。
- ・「(史料翻訳解題) トランシルヴァニアの教会合同に関するレオポルト勅令(1699年)」『千葉大学社会文化科学研究』12号、2006年、317-323頁。
- ・「(史料翻訳解題) トランシルヴァニア侯国に関するレオポルト勅令(1691年)」『千葉大学社会文化科学研究』11号、2005年、146-156頁。
- ・「エンドレーディ・ヨーゼフの改宗と放浪—ローマ・カトリックから合同派をへてカルヴァン派へ—」南塚

信吾編『千葉大学社会文化科学研究科研究プロジェクト報告集』95号、2004年、43-72頁。

- ・\*「ハンガリーにおける町村結合と共通の記憶—18世紀および19世紀前半のエステルハーズィ家デレチュケ所領—」『史学雑誌』第112巻第6号、2003年、1-34頁。
- ・\*「18世紀トランシルヴァニア・ザラトナ郡における酒と住民—騒乱と日常性—」『歴史学研究』761号、2002年、34-53頁。
- ・\*Pálinkafogyasztás Debrecenben a XVIII. századtól a XIX. század elejéig, *Agrártörténeti Szemle*, XLIV(1-2), 2002, 179-194.
- ・「18世紀中期ハンガリーにおける都市および街区財政—デブレツェンを中心に—」南塚信吾編『千葉大学社会文化科学研究科研究プロジェクト報告集』45号、2002年、2-48頁。

### (c) 翻訳

- ・マーテ・キタニチ著「ハンガリーへのクロアチア人移民—16世紀から18世紀—」(原著：ハンガリー語・未発表) 山本明代、パプ・ノルベルト編『移動がつくる東中欧・バルカン史』刀水書房、2017年、53-83頁。
- ・モーリー・グリーン著『海賊と商人の地中海—マルタ騎士団とギリシア商人の近世海洋史—』(原著：Molly Greene, *Catholic Pirates and Greek Merchants: A Maritime History of the Mediterranean*, Princeton University Press, Princeton/Oxford, 2010年、英語) NTT出版、2014年。
- ・カール・カーザー著『ハプスブルク軍政国境の社会史—自由農民にして兵士—』(原著：Karl Kaser, *Freier Bauer und Soldat. Die Militärisierung der agrarischen Gesellschaft an der kroatisch-slavonischen Militärgrenze*, Böhlau Verlag, Wien/Köln, 1997年、ドイツ語、共訳) 学術出版会、2013年。
- ・ニーデルハウゼン・エミル『総覧 東欧ロシア史学史』(原著：Niederhauser Emil *A történetírás története Kelet-Európában*, MTA Történettudományi Intézete, Budapest, 1995年、ハンガリー語、共訳) 北海道大学出版会、2013年。
- ・バラージュ・トレンチャーニ著「国民を論じる—ハンガリーにおける政治言語の伝統—」(原著：英語・未発表) 篠原琢・中澤達哉編『ハプスブルク帝国政治文化史—継承される正統性—』昭和堂、2012年、11-64頁。
- ・ロビン・オーキー著『ハプスブルク君主国 1765-1918』(原著：Robin Okey, *The Habsburg Monarchy c. 1765-1918: From Enlightenment to Eclipse*, Palgrave Macmillan/Basingstoke, Hampshire/London, 2000年、英語、監訳) NTT出版、2010年。
- ・ヤーノシュ・サーヴァイ著『ハンガリー』(原著：János Szávai, *La Hongrie*, Presses Universitaires de France, Paris, 1996年、フランス語、共訳) 白水社、1999年。

## B. 本研究科着任後の研究活動（着任2010年）

### (a) 国内外学会発表

- ・「取り締まられる他者たち—18世紀中葉ハンガリーの「放浪民」—」, 東欧史研究会 2015年度第4回例会, 2015.12, 大正大学
- ・\*「近世東欧の交易ネットワークとその担い手たち—18世紀ハンガリーのバルカン商人—」, 東欧史研究会 2015年度大会「東欧史におけるネットワーク」, 2015.4, 大正大学
- ・「東欧ロシア史学史の課題」, 日本西洋史学会第62回大会小シンポジウムIV「ロシア東欧の史学史」, 2012.5, 明治大学
- ・\*「A magyar-kutatás múltja és jelene Japánban (日本におけるハンガリー研究の過去と現在)」, 日本ハンガリー・バルカン研究シンポジウム, 2010.9, ハンガリー・ペーチ大学

### (b) 国内研究プロジェクト

- ・科学研究費補助金 基盤 (B), 「近世・近代のヴラフ人の移動と集団形成に関する基礎的研究: バルカン・中欧・新大陸」(研究代表者), 日本学術振興会, 2017-2021 年度(予定)
- ・科学研究費補助金 基盤 (B), 「近世ユーラシアにおける宗教・交易ネットワークとアルメニア人」(研究分担者), 日本学術振興会, 2017-2021 年度(予定)
- ・科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 「商人・難民ディアスポラと近世社会: トランシルヴァニアのブルガリア人とアルメニア人」(研究代表者), 日本学術振興会, 2015-2018 年度
- ・科学研究費補助金 基盤研究 (A), 「ヨーロッパ東部境界地域における他者概念の形成と空間的再構成」(研究分担者), 2015-2018 年度
- ・科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 若手研究 (B), 「18 世紀ハンガリーにおけるギリシア商人の社会史的研究」(研究代表者), 日本学術振興会, 2011-2013 年度
- ・科学研究費補助金 基盤研究 (A), 「ヨーロッパ境界地域の歴史的経験とパトリア意識/市民権」(研究分担者), 日本学術振興会, 2010-2013 年度

### (c) 国際研究プロジェクト

- ・ハンガリーとの共同研究「東中欧・バルカン地域の人・モノの移動に関する考察」(研究分担者)、日本学術振興会、2013-2014 年度。

---

## 6. 学内行政

### (B) 学内委員会

- ・社会科学古典資料センター運営委員会: 2016-2020 年度
- ・大学院教育専門委員会: 2018-2019 年度
- ・一橋大学障害学生支援委員会: 2019 年度
- ・EU 共同研究プログラム運営委員会: 2013-2019 年度
- ・教職課程専門委員会: 2015-2016 年度

---

## 7. 学外活動

### (a) 他大学非常勤講師など

- ・2011 年 10 月~3 月; 2012 年 10 月~3 月 東京大学文学部非常勤講師

### (b) 所属学会および学術活動

- ・歴史学研究会: 2006-2007 年度委員
- ・東欧史研究会: 1998、2006-2011 年度委員; 2010 年度編集長
- ・史学会
- ・歴史科学協議会

### (c) 公開講座・市民講座

- ・2021 年 3 月 8 日: KUNILABO (国立人文研究所人文学講座) 講師—「佐藤亜紀さんと、歴史×文学で歴史小説について考える」
- ・2018 年 9-12 月: KUNILABO (国立人文研究所人文学講座) 講師—「歴史の「生の声」を聴く—史料でよむ中

近世ヨーロッパ社会史—」

- ・2016年7月16日：一橋大学社会学部連続市民講座 講師—「歴史の周縁を浮かび上がらせる—18世紀と21世紀の「同じ現場」
- ・2016年4-7月：KUNILABO（国立人文研究所人文学講座）講師—「難民問題」からさかのぼって考える東ヨーロッパ現代史
- ・2013年2月22日：朝日カルチャーセンター立川 講師—「ブダペストの裏町を歩く」

---

## 9. 一般的言論活動

- ・2019年6月2日放送：TBS テレビ「世界遺産」監修—「トランシルヴァニア地方の要塞教会群（ルーマニア）」
- ・2015年6月26日放送：NHK-BS-1「キャチ！世界の視点」コメント—「ハンガリー—国境壁建設」